

今回は、本田健さんの「ワクワクすることが人生にお金をつれてくる！から

「変えないでいくところ」と「変えるところ」を紹介します。

商売のことを「商い」とも言いますが「飽きない」とも言われてきました。考えたら、毎日大半の時間を仕事に費やすわけですから、数年で自分が飽きてしまうようなことをやっていると、その後、仕事が苦痛になってしまいます。なので、長くやるつもりなら「自分がそれをやっても飽きないこと」を1つの基準に仕事を選ぶことが大事です。最初はものすごくやる気になっても必ず途中でやる気は落ちてきます。そのときに、いろいろ工夫をして、自分の気持ちをアップさせることはとても大切です。本当に楽しいことを仕事にすればイヤなことをするという意味での「労働」から一生解放されます。同時に、飽きられないことも大事です。商売の世界も芸人の世界と同じでお客さんに喜んでもらってなんぼです。お客さんに飽きられてしまったら長く成功することはできません。かといって、やっていることをクルクル変えていけばいいかというと、そういうわけでもありません。同じことをやっていないと固定客がつかなくなってしまうのです。なので、愚直に同じことをやりながらも飽きられない工夫をする必要があります。それは、団子屋さん、クリーニング屋さん、花屋さん、料理店、コーチ、カウンセラー、コンサルタント、歌手などどの世界でも言えることです。そのためにはあなた自身が絶えず進化していくことです。あなたがおもしろいと思ったことワクワクすることを本業にかけ算していくことがワンアンドオンリーの世界をつくっていきます。同業他社と同じようなことを同じような値段でやっても差別化ができません。思い切ってあつと言わせるようなことをやり続けることで、絶えずいろんな人が注目してくれるようになります。どの業界にも、革新的な人はいます。その創造性と情熱が新しいお客さんを生み続けるのです。たとえば、団子屋さんの例でいえば昔からあるみたらし団子などの定番の味は守りつつも、必ず毎月創作団子が出てくるようなお店だと、メディアの注目も増えるでしょう。お客さんも来るたびにうれしい団子があれば定番のものと一緒につい買ってみたくなるものです。

「変えないでいくところ」と「変えるところ」

このバランスがダイナミックな動きをつくり出します。それで離れていくお客さんもいるでしょうけれど「ユニークでおもしろい」と言ってハマってくれる人も出てきます。

Q1：仕事を長くやるつもりなら、何を基準に選べばいいと言っていますか？

A1：

()

Q2：毎日の仕事で必ず心がけている同じ事と、工夫をして変えている事がありますか？

A2：()